



橋本真那美
はしもとまなみ

株式会社ブレインマークス ビジネスコンサルタント

2012年大学卒業後にブレインマークスに入社。自社の会員サービス運営や社内の文化づくり、採用などさまざまなことを経験。現在は持ち前の計画力・実行力を生かして、マーケティング部門に所属。最後まで諦めない粘り強さで、集客、販促、社内のウェブ制作などを務めている。



講座の様子

— 10年後のためのアドバイス! —

マッサージやリラクゼーション業の市場規模は1990年代から増加傾向にありましたが、2010年代中盤からは停滞期に入っています。主な要因は店舗数の増加による価格競争の激化、人手不足などといわれています。また、大手チェーンで働くスタッフは業務委託契約による雇用形態であることが多く、社会保険がなく給料が不安定といった課題も指摘されています。とはいえ、コロナショックによって健康に対するニーズはますます拡大していくでしょうから、この間にさらなるサービスの差別化や人材育成の仕組みづくりに取り組みると、コロナショック後に飛躍できる可能性が十分にあると思われまます。ぜひともコロナショックを克服し、業界をリードしていただきたいものです。

ソフトである」と確信しており、その素晴らしいさを広めていきたいというモチベーションで仕事に取り組んでいます。

橋本 具体的にどのようなビジネスを展開していったのでしょうか。

堺谷 まずはタイ古式マッサージの技術を学びたい方ではなく、健康のプロとして活動しているパーソナルトレーナー、インストラクター、治療家などをターゲットとし、卓越した施術技術を取り入れることを提案し、会員を増やしました。その際に強調したのは、伝統的なタイ古式マッサージの技術の卓越性に、最先端の解剖学による科学的な根拠を加えている点です。この解剖学というのがポイントで、こういった発想は従来

のタイ古式マッサージにはありませんでした。日本はもとよりタイでもまだほとんど普及していないかっただけです。そうやってタイ古式マッサージのリブランディングをはかり、健康のプロの方に広めていったのです。

橋本 どのような特徴があるのでしょうか。

堺谷 一般的なタイ古式マッサージは1回の施術で1〜2部位の筋肉にアプローチしますが、私たちの手法は全身を使ってお尻リリクス、整体、ストレッチといった複数の施術テクニックを複数部位に施し、刺激(マリンチステミレーション)を与えていきます。これはほかには顔を含めないテクニックだと思えます。

橋本 講座の受講者たちとはど

のようなコミュニケーションを心がけていますか。

堺谷 受講者の皆さんには講座終了後も継続的に技術向上やキャリアアップの機会を提供するようにしています。たとえばその一環として、講座終了から1年間は追加料金なしでリピーター受講が可能な仕組みをつくり、講座への再参加を促すことで、技術の習熟度、理解度を高め、受講生同士が自然とコミュニケーションを取りやすくなるようにしています。

橋本 新しい講座も拡充させているそうですが、今後の目標についてお聞かせください。

堺谷 西洋医学をベースにしたながら食事や運動といったライフスタイル分野の講座も充実させていきたいと思っています。また、2025年までに20店舗にまで拡大し、セラピストを100人ほど直接雇用できる規模にしたいと考えています。

橋本 マッサージやリラクゼーション、パーソナルトレーニン

堺谷友晴

さかいたに・ともはる

JTTMA 代表



2000年より13年間、大手教育関連会社にて、スポーツトレーナーを養成する専門学校での企画運営にかかわる。13年独立とともにJTTMA(日本タイ古式マッサージ協会)を創設し、NESTA JAPAN(全米エクササイズ&スポーツトレーナー協会)に参画。17年にJTTMA代表に就任し、トレーナー、ヨガ、セラピスト業界の第一人者の講師陣とともに、タイ古式マッサージの枠にとどまらないプログラムを開発。JTTMAをタイ古式マッサージの教育団体としては日本一のセミナー受講者、会員数を誇る団体へと成長させる。

10年後をリードする 未来企業

81

タイ古式マッサージに解剖学の要素を取り入れ マッサージ業界の人材育成とビジネス支援を実施!!

指圧にストレッチ、筋膜リリースなどの要素を加えた「タイ古式マッサージ」のプロ育成とビジネス支援を展開しているJTTMA(日本タイ古式マッサージ協会)。同協会は解剖学の要素を取り入れたセラピスト資格認定講座を展開し、人気を集めている。さっそく、堺谷友晴代表の夢と思いに燃えるブレインマークスの橋本真那美氏がアプローチした。

資格を生かせるサロンの運営事業も行っています。

橋本 養成講座の内容はどのようなものなのでしょうか。

堺谷 「タイ伝統医療協会」と提携して提供しているカリキュラムは、東洋の伝統療法であるタイ古式マッサージの知識に西洋の最先端の解剖学を加えたもので、運動やストレッチ、食事などのアドバイスも行えるセラピストの養成を目指す内容になっています。また、コースは基礎を学ぶ「ベーシック」、ステップアップ編の「アドバンス」、頭部、顔面、腹部にまでおよぶ全身施術を習得する「マスタート」、教育者レベルになるための「ティチャー」の4つで構成されています。

橋本 堺谷さんはもともと大手教育関連会社でスポーツトレーナー向けの専門学校を企画運営を手掛けていたそうですが、どのような経緯で独立したのでしょうか。

堺谷 米岡で健康・フィットネス分野のプロトレーナーの資格認定事業を手掛けていた「NESTA(ネスタ)」との縁がきっかけになりました。2012年にネスタ日本法人の代表から「タイのマッサージ協会」と資格認定で提携できそうだと



JTTMAが推進するタイ古式マッサージの施術風景

から一緒に開業を立ち上げよう」と持ち掛けられたのです。私にとってこの誘いは非常に魅力的なものだったので、思い切った独立の道を選ぶことにしました。橋本 タイにかかわるビジネスを立ち上げられる方の多くは、もともとタイという国が好きだったり、その文化に精通しているケースが多いように思います。堺谷さんもそうだったのでしょうか。

堺谷 実をいうと、タイそのものにはとくに思い入れはありませんでした。むしろ興味を惹かれたのは付加価値の高いスキルでした。もちろん、実際に事業をはじめると、アットという間にタイ古式マッサージの魅力に取りつかれてしまいました。現在では「タイ古式マッサージは人を健康にする素晴らしいメ